

日本スポーツ雪合戦選手会
代表 上野克浩 様

公開質問状への回答

(経緯)

壮瞥町を発祥の地とする雪合戦は、平成元年に「第1回昭和新山国際雪合戦」を実施されました。その後、チームの増加に伴い平成5年に日本雪合戦連盟を設立し、競技規則と審判員は日本雪合戦連盟に移管しました。

私たちは、日本におけるスポーツ連盟団体と同様にスポーツであることを明確にしているため、平成23年4月1日一般社団法人日本雪合戦連盟として法人化しました。

(ルールと競技レベル)

ルールについては、従前からの方式を踏襲し、各地大会においてルール実施状況検証を行い、毎年11月開催の専門委員会・合同委員会に意見をもち寄り協議の上、ルールを決定しております。

また、全体的な競技運営と審判技術の向上を目指し、毎年開催される日本雪合戦選手権大会において各地域を代表する役員や審判員が、討議と実践を繰り返しており、少しずつではありますが、着実に向上していると感じております。

特に2022年北京オリンピックにおいて「スポーツ雪合戦」を競技種目の一つにするという目標のために、益々競技レベルを上げていくことが私たちの使命と考えております。

(組織)

(一社)日本雪合戦連盟は、日本国内の雪合戦団体を統括する組織として活動しておりますが、日本全体が一つになっていないのが現状です。(一社)国際雪合戦連合様は、日本の一部の団体と海外の団体によって構成しておられるたいへん素晴らしい組織だと思います。

この二つの雪合戦組織が一つになるには、どうすればいいのかという問いに、現状では具休案は思い浮かびませんが、話し合いを繰り返していくことが大切だと思います。

私たちは望んでこのような形にはしておりませんので、早い時期に世界に誇れる雪合戦組織にしていきたいと思っております。

2017年12月14日

一般社団法人日本雪合戦連盟

事務局長 高橋 敏樹

